



コンソール アクセス用予約メモリ

コンソール アクセス機能の予約メモリは、Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) およびソフトウェア拡張機能を実装しており、これにより、ルータ コンソールへのログインや、管理作業およびトラブルシューティングを実行するために十分なメモリを予約できます。これらの拡張機能によって、管理者はどのような状況でも、ルータのメモリが不足しているときでさえ、ルータにログインできるようになります。

この章で紹介する機能情報の入手方法

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースで、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。この章に記載されている特定の機能に関する説明へのリンク、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[Reserve Memory for Console Access の機能情報](#)」(P.6) を参照してください。

プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージのサポート情報の入手方法

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。<http://www.cisco.com/go/fn> にある Cisco Feature Navigator にアクセスしてください。アクセスには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントを持っていないか、ユーザ名またはパスワードが不明な場合は、ログイン ダイアログボックスの [Cancel] をクリックし、表示される指示に従ってください。

この章の構成

- 「[Reserve Memory for Console Access について](#)」(P.2)
- 「[Reserve Memory for Console Access の設定方法](#)」(P.2)
- 「[Reserve Memory for Console Access の設定例](#)」(P.3)
- 「[その他の関連資料](#)」(P.4)
- 「[コマンドリファレンス](#)」(P.5)
- 「[Reserve Memory for Console Access の機能情報](#)」(P.6)



Reserve Memory for Console Access について

コンソール アクセス用に予約されたメモリの容量を増やす前に、次の概念を理解しておく必要があります。

- 「[コンソール アクセス用のメモリ増設の利点](#)」 (P.2)
- 「[コンソール アクセスの予約メモリ増設に関するガイドライン](#)」 (P.2)

コンソール アクセス用のメモリ増設の利点

Cisco IOS 12.0(22)S ソフトウェアのリリースよりも前では、ルータがメモリ不足であったり、非常に小さくフラグメント化されたりしている場合はルータ コンソールにアクセスできませんでした。ルータを最適なパフォーマンス レベルに維持するには、必要な場合にコンソールにアクセスしてトラブルシューティングを実行できる必要があります。

コンソール アクセスの予約メモリ機能のリリースに伴う利点は、ルータがメモリ不足であったり、非常に小さくフラグメント化されたりしても、どのような状況でもルータ コンソールにログインして管理作業やトラブルシューティングを実行するための十分なメモリを予約できることです。

コンソール アクセスの予約メモリ増設に関するガイドライン

Cisco IOS ソフトウェアでは、デフォルトでコンソール アクセス用に 256 KB のメモリが予約されています。この予約メモリは、**Reserve Memory for Console Access** 機能で提供される **memory reserved console** コマンドを使用して増設できます。

このコマンドの使用上のガイドラインとして、NVRAM の使用バイト数の 3 倍を超える値を設定することを推奨します。**dir nvram:** コマンドの出力から、NVRAM の使用バイト数を取得できます。たとえば、コマンド **dir nvram:** の出力で表示される NVRAM の使用バイト数の合計が 129016 バイトである場合は、四捨五入されて近似値が 129 KB になります。この値に 3 を掛けて 387 KB になります。ガイドラインに従って、**memory reserved console** コマンドの *number-of-kilobytes* 引数の値として、387 を入力します。コンソール アクセス用の予約メモリは、最大 4096 KB まで増設できます。

コンソールに予約されたメモリの現在の使用可能サイズを表示するには、**show memory console reserved** コマンドを使用できます。

Reserve Memory for Console Access の設定方法

ここでは、次の手順について説明します。

- 「[コンソール アクセス用の予約メモリの設定](#)」

コンソール アクセス用の予約メモリの設定

コンソール アクセス用の予約メモリを設定するには、次の作業を実行します。ルータがメモリ不足であったり、非常に小さくフラグメント化されたりしている場合は、コンソール アクセス用に予約されたメモリの容量を増設する必要があります。メモリを増設すると、ルータ コンソールにアクセスしてトラブルシューティングや他の管理作業を実行して、ルータを最適なパフォーマンス レベルに維持できます。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `memory reserve console number-of-kilobytes`
4. `exit`
5. `show memory console reserved`

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | <code>enable</code> 例： Router> enable | 特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | <code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 3 | <code>memory reserved console number-of-kilobytes</code> 例： Router(config)# memory reserved console 512 | コンソール アクセス用に予約されたメモリの容量を増やします。 • <i>number-of-kilobytes</i> 引数は、予約されたメモリの容量です (KB 単位)。有効な値は 1 ~ 4096 KB です。 |
| ステップ 4 | <code>exit</code> 例： Router(config)# exit | 特権 exit モードを終了します。 |
| ステップ 5 | <code>show memory console reserved</code> 例： Router# show memory console reserved | 予約されているメモリの容量を表示します。 |

例

次に、`show memory console reserved` コマンドの出力例を示します。

```
Router# show memory console reserved

Memory reserved for console is 201400
```

Reserve Memory for Console Access の設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「[コンソール アクセス用の予約メモリの設定 : 例](#)」

コンソール アクセス用の予約メモリの設定：例

次に、コンソール アクセス用の予約メモリを 1024 KB まで増やす例を示します。

```
enable
!
configure terminal
!
memory reserved console 1024
end
```

次に、コンソール アクセス用の予約メモリの増設をディセーブルにする例を示します。

```
enable
!
configure terminal
!
no memory reserved console
end
```

その他の関連資料

ここでは、Reserve Memory for Console Access 機能に関する関連資料について説明します。

関連資料

| 関連項目 | 参照先 |
|--|--|
| Cisco IOS コンフィギュレーションの基本コマンド | 『 Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference, Release 12.2 』 |
| Cisco IOS コンフィギュレーションの基本コンフィギュレーション作業および基本概念 | 『 Cisco IOS Configuration Fundamentals Configuration Guide, Release 12.2 』 |

規格

| 規格 | タイトル |
|--|------|
| この機能によりサポートされた新規標準または改訂標準はありません。またこの機能による既存標準のサポートに変更はありません。 | — |

MIB

| MIB | MIB リンク |
|--|--|
| この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。 | 選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能セットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs |

RFC

| RFC | タイトル |
|---|------|
| この機能によりサポートされた新規 RFC または改訂 RFC はありません。またこの機能で既存 RFC のサポートに変更はありません。 | — |

シスコのテクニカル サポート

| 説明 | リンク |
|--|---|
| シスコのテクニカル サポートおよびドキュメンテーション Web サイトには、数千ページに及ぶ検索可能な技術情報があります。製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクもあります。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。 | http://www.cisco.com/techsupport |

コマンド リファレンス

次に示すコマンドは、このモジュールに記載されている機能または機能群において、新たに導入または変更されたものです。これらのコマンドの詳細については、『*Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/fundamentals/command/reference/cf_book.html) を参照してください。すべての Cisco IOS コマンドの詳細については、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> にある Command Lookup Tool を使用するか、または『*Cisco IOS Master Commands List*』を参照してください。

- **memory reserved console**
- **show memory console reserved**

Reserve Memory for Console Accessの機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドに関するリリース情報については、コマンドリファレンス マニュアルを参照してください。

Cisco IOS ソフトウェア イメージは、Cisco IOS ソフトウェア リリース、機能セット、プラットフォームそれぞれに固有です。Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。<http://www.cisco.com/go/fn> にある Cisco Feature Navigator にアクセスしてください。アクセスには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントを持っていないか、ユーザ名またはパスワードが不明な場合は、ログイン ダイアログボックスの [Cancel] をクリックし、表示される指示に従ってください。



(注) 表 1 には、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけが記載されています。その機能は、特に断りがない限り、以降の Cisco IOS ソフトウェアのメンテナンス リリースでもサポートされます。

表 1 Reserve Memory for Console Accessの機能情報

| 機能名 | リリース | 機能情報 |
|------------------|--------------------------------------|---|
| コンソール アクセス用予約メモリ | 12.0(22)S 12.2(28)SB 12.4(15)T | <p>コンソール アクセス機能の予約メモリは、Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) およびソフトウェア拡張機能を実装しており、これにより、ルータ コンソールへのログインや、管理作業およびトラブルシューティングを実行するために十分なメモリを予約できます。これらの拡張機能によって、管理者はどのような状況でも、ルータのメモリが不足しているときでさえ、ルータにログインできるようになります。</p> <p>この機能は、12.0(22)S で初めて導入されました。</p> <p>この機能は、12.2(28)SB で Cisco IOS 12.2SB リリースに統合されました。</p> <p>この機能は、12.4(15)T で Cisco IOS 12.2T リリースに統合されました。</p> <p>この機能に関する詳細については、次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コンソール アクセス用のメモリ増設の利点」 (P.2) 「コンソール アクセスの予約メモリ増設に関するガイドライン」 (P.2) 「コンソール アクセス用の予約メモリの設定」 (P.2) <p>この機能により、memory reserved console および show memory console reserved コマンドが変更されました。</p> |

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2007 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2007–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

